

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	自転車通行帯整備事業		
事業担当	まちづくり政策部 交通政策課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごこち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者		事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
自転車を利用しやすいまちづくりを進めるため、自転車の通行環境の向上を図ります。		自転車の安全で快適な通行環境を向上させるため、幹線的な自転車ネットワークを整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	自転車通行帯整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成26年度までの進捗累計に対する当該年度までの指数累計の率。(調査20%、設計30%、工事50%) (平成24年度のみ)					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標			20			
	実績			20			
成果指標②	指標名	自転車通行帯整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの進捗累計に対する当該年度までの指数累計の率。(調査20%、協議20%、工事60%) (平成25年度から)					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標				30		
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
交通量調査(23箇所)の実施と、自転車事故多発箇所、集客施設、道路の幅員や規制、既存の自転車通行帯状況等、関連するデータの収集及び整理をし、自転車ネットワーク路線(案)を作成しました。							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	自転車利用アンケート調査(H20.10)によれば、歩行者と混在して走りづらい(52%)や自動車と混在して危険(40%)等、自転車通行帯整備の必要性が望まれています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	自転車通行帯整備事業により、平塚市総合交通計画における自転車ネットワークが形成され、自転車の走行環境の向上が図られます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市域の大部分が平坦な平塚市において、自転車の走行環境を整えることは、過度な自動車利用の転換を促し、交通混雑の解消、環境負荷の低減等が期待できます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民や関係する団体等の意見を取り入れ、自転車ネットワーク計画の策定を効率よく進めます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		自転車の走行環境の向上のためには、自転車通行空間の計画が必須であることから、路線選定、整備形態等を盛り込んだ自転車通行帯整備計画を策定し、着実な整備を進める必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容				自転車通行環境調査	整備形態の検討、警察との協議
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	3,446	0
事業費 (A)		0	0	3,446	0
執行率 (%)		—	—	98.46	
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.40	0.65
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.20	0.00
人件費 (B)		0	0	3,887	5,167
フルコスト (A+B)		0	0	7,333	5,167

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	社会実験の成果と課題を踏まえ、安全で快適な通行環境と機能的なネットワークの連続性の確保をめざし、自転車通行帯整備計画の策定に取り組みます。
課長コメント	平塚市総合交通計画の中で自転車ネットワークの配置方針で示されているとおり、自転車の利便性向上が交通課題として挙げられているので、駅や公共機関等の日常のものから、レクリエーション的なものまで、段階的にネットワークの整備推進を図る必要があります。